

取り付けと接続

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買上げ店に依頼する
本機はDC12Vマイナスアース専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



取り付け / 接続部品 (付属)

- 地図ディスプレイ専用**
- ① 電源コード
 - ② 電源延長コード
 - ③ 圧着式コネクタ (赤)
 - ④ 圧着式コネクタ (ピンク) x2
 - ⑤ マジックテープ (大) x2
- エクステンションユニット用**
- ⑥ モニター接続コード
 - ⑦ マジックテープ (小) x2
- モニター用**
- ⑧ スタンド
 - ⑨ 固定用ネジ x3
 - ⑩ スタンドカバー
 - ⑪ クリーニングクロス
- GPSアンテナ用**
- ⑫ コードクランパー x2
 - ⑬ クッション
 - ⑭ コードクランパー x5
 - ⑮ 両面テープ x2
- リモコン用**
- ⑯ リモコンホルダー



警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

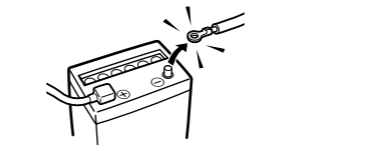
- 火災 感電
- 行為を禁止する記号
- 禁止 分解禁止

警告 火災 感電 下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



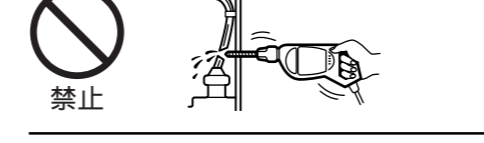
配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす
マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



前方の視界を妨げる場所に取り付けない
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない
火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



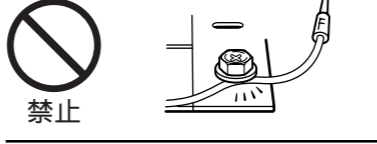
助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



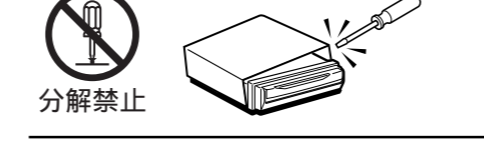
ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



分解や改造をしない
火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流量を超過してしまいます。内部の点検や修理はお買上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



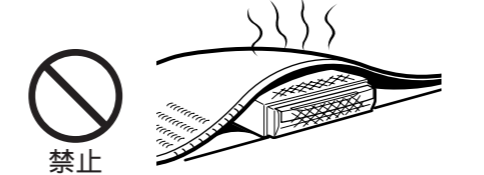
雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない
上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

注意 下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

安定した場所に取り付ける
振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



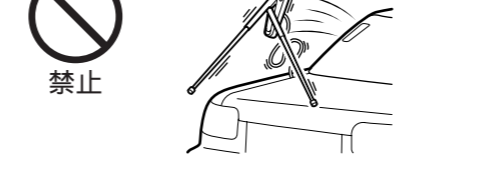
本機の通風口や放熱板をふさがない
フロアカーペットの内側やマットの下などに設置して通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災などの重大事故の原因となります。



TVアンテナは車体からはみ出さないように取り付け
歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



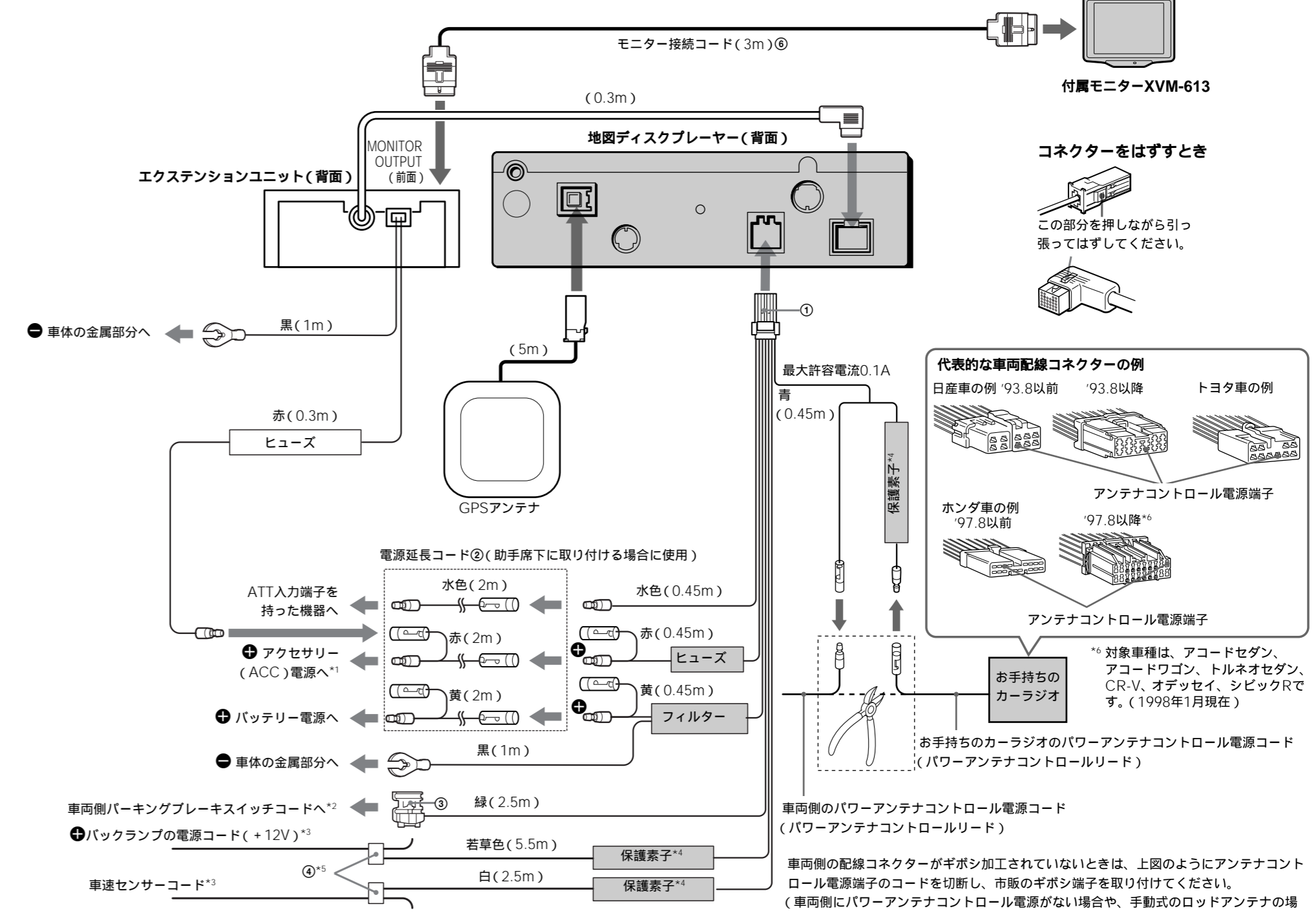
アンテナは確実に両面テープで固定する
車体や歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



付属の部品で正しく取り付け
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

接続

ショート事故を防ぐために
作業中のショート事故防止のため、電源コード(赤色コードと黄色コード)の接続は、接続作業の最後に行うか、バッテリーのマイナス端子をはずしてから行うようにしてください。(ただし、ドライブコンピューターやカーオーディオが取り付けられている車では、バッテリーのマイナス端子をはずすと、コンピューターやカーオーディオのメモリーの内容がすべて消える場合がありますのでご注意ください。)



- ¹ イグニッションスイッチにアクセサリポジションのない車には取り付けられません。
- ² 緑色コードは必ず車両側パーキングブレーキスイッチコードに接続してください。
- ³ 必ず車両側車速センサーコード、バックランプの電源コードに接続してください。また、車速センサーコード、バックランプの電源ケーブルについては必ずお買上げ店にご相談ください。
- ⁴ 保護素子は絶対に向きを逆に取り付けなくてください。
- ⁵ 圧着式コネクタは保護素子より車側の位置で接続してください。

ヒューズの交換
ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

車速センサーコード/バックランプの電源コードの接続について

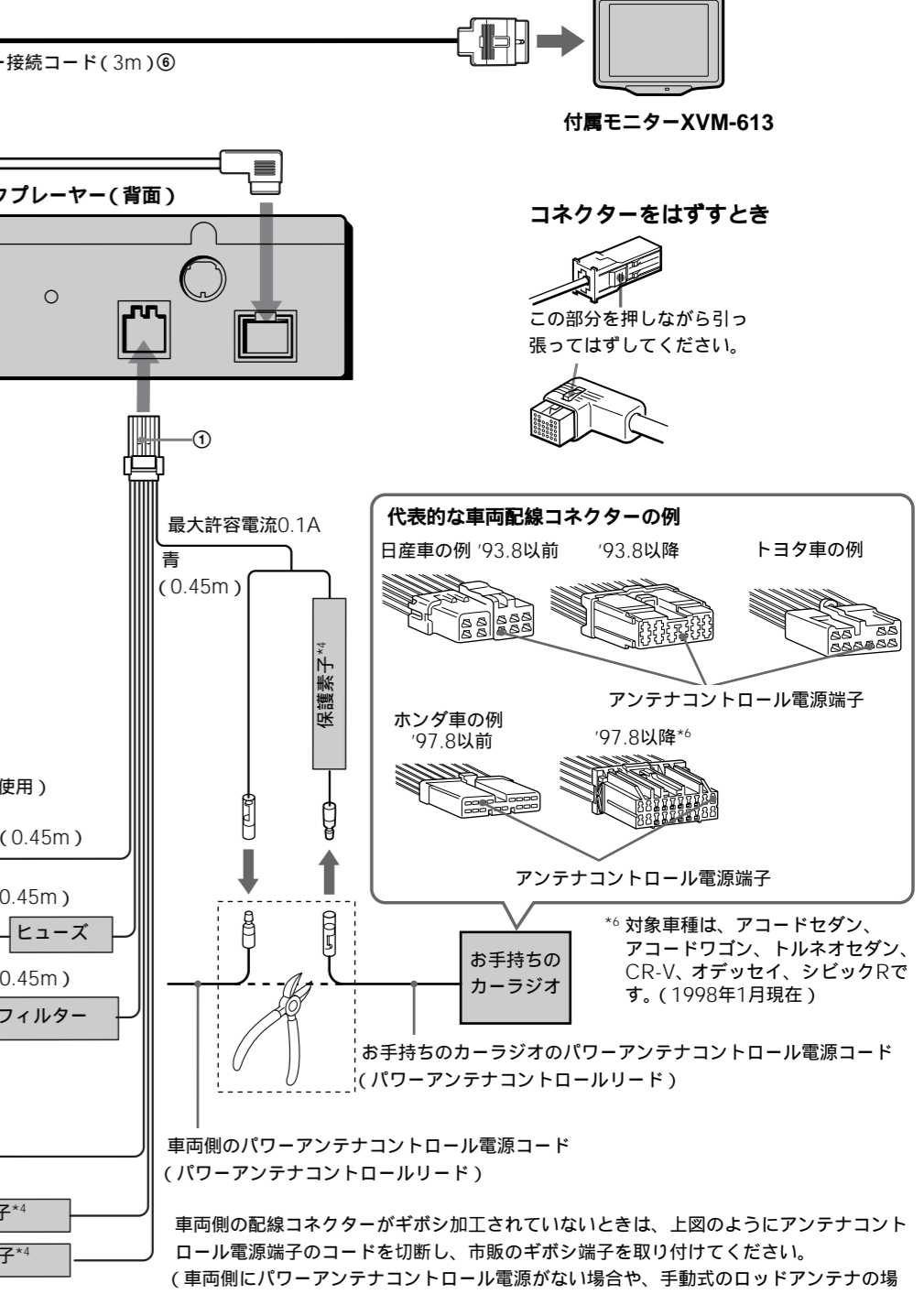
自律センサー用の白色コードを車速センサーコードに接続しないと正確な測位ができません。また、バックランプの電源コードを接続しないと、車両後退時の誤差が生じます。車速センサーコードおよびバックランプの電源コードの位置は車両によって異なりますので、必ずお買上げ店にご相談ください。

圧着式コネクタ(ピンク)④の使いかた
(バックランプの電源コードも同様に取付けてください)

- 圧着式コネクタ④から、金具を取りはずす。
- センサーボックスの白色コードと車両側の車速センサーコードをコネクタにとおす。
- 手順1でははずした金具を取り付ける。
- ふたをする。

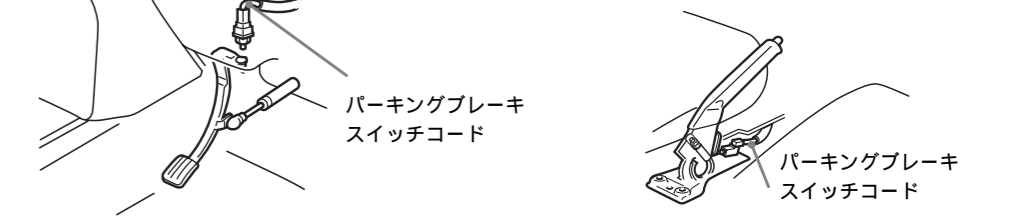
ご注意

- 地図ディスプレイとチューナー類は、できるだけ離して設置してください。近づけると、テレビ画面にノイズが出る場合があります。
- 地図ディスプレイとエクステンションユニットをトランクルームに取り付ける場合は、電源延長コード②のかわりに別売りの電源延長コードRC-129P(5m)やモニター延長コードRC-116M(4m)をお使いください。



パーキングブレーキスイッチコードの接続について

パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、くわしくはお買上げ店にご相談ください。



圧着式コネクタ(赤)③の使いかた

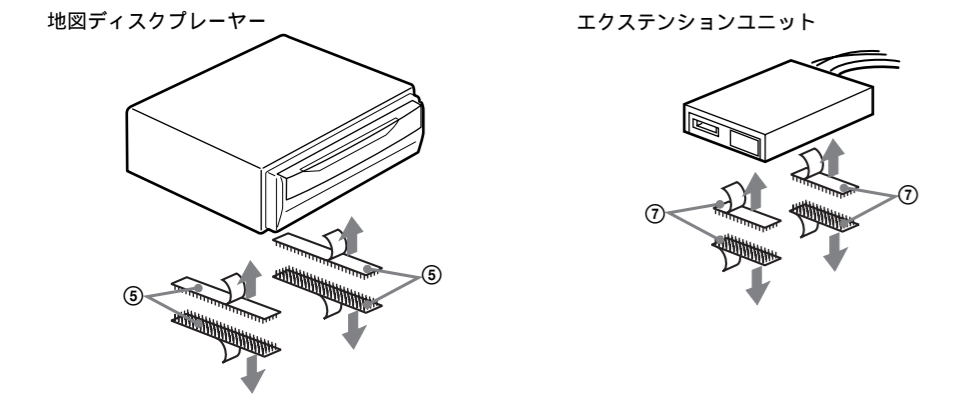
- 電源コードのパーキングコード(緑色)の先端に圧着式コネクタ③を取り付ける。
 - 圧着式コネクタを車両側パーキングブレーキスイッチコードの適当な位置に取り付ける。
- パーキングブレーキを引いたときボディへアースする、パーキングブレーキを戻したときは12Vの電圧が加わるリードに接続。
- 車両側パーキングブレーキスイッチコードが細い場合、接触が不十分になることがありますのでご注意ください。

地図ディスクプレーヤーとエクステンションユニットの取り付け

地図ディスクプレーヤーとエクステンションユニットは、マジックテープを使い、助手席の下など、運転の妨げにならない場所に設置してください。

取り付けかた

付属のマジックテープ⑨および⑩で、取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



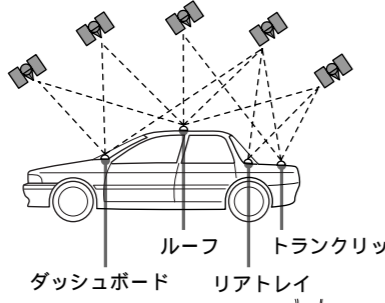
GPSアンテナの取り付け

車外に取り付ける場合

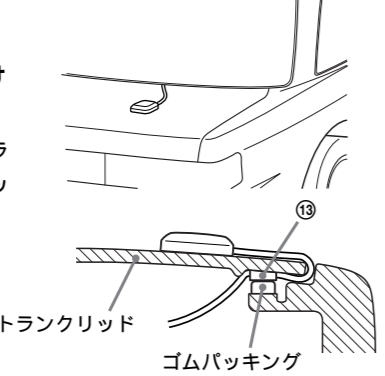
GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所(車外のルーフやトランクリッドなど)に、水平に取り付けてください。

GPSアンテナは磁石で取り付けます。取り付けるときは、ボディを傷付けないように静かに置いてください。**アルミやFRPボディの車に取り付ける場合**アルミやFRPボディの車には磁石で取り付けられませんので、車内に取り付けてください。

- 1 トランクリッドなどの上に取り付ける。
取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



- 2 トランクリッドの裏側に、クッションを取り付ける。
雨水がコードを伝わって車内に侵入しないように、トランクリッドを開めたときに、ゴムパッキングの上にクッション⑩が当たるように取り付けてください。



ご注意

- コードを車外でたるませたままにしないでください。
- コードを固定するときは、必要に応じて付属のコードクランパー⑭をご使用ください。
- 取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが抜けることがあります。
- 自動洗車機で洗車するときは、アンテナを外してください。アンテナが外れて車のボディを傷付けることがあります。
- GPSアンテナコードは、GPSの信号とGPSアンテナへのDC電源が通っています。配線にあたっては、車体可動部へのかみ込みにご注意ください。コードを破損すると、GPSアンテナおよび本体(地図ディスクプレーヤー)の故障の原因となります。

アンテナの塗装について

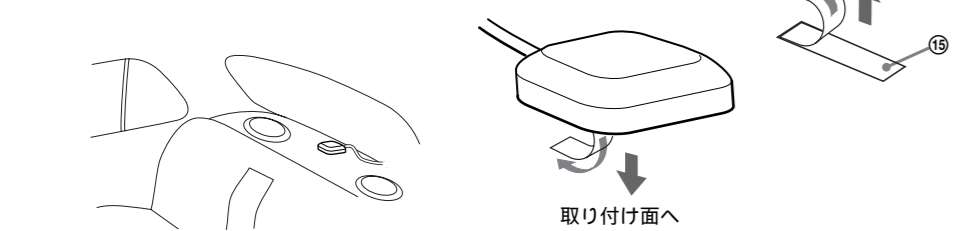
アンテナは車のボディカラーに合わせて塗装できますが、金属粉が含まれる塗装(メタリック系の塗装など)は、受信感度の低下や受信不能の原因になるため使用しないでください。また塗装するときにアンテナを分解しないでください。

車内に取り付ける場合

- リアトレイやダッシュボードに取り付けます。
- 平らな位置に、アンテナが水平になるように取り付けてください。
- できるだけ角度が大きくなるような場所に取り付けてください。また、GPS衛星からの電波を遮るものがない場所を選んで取り付けてください。車内に通ずる場所がない場合は、車外のトランクの上などに取り付けてください。

- 1 アンテナに両面テープ⑨を貼り付ける。

- 2 はくり紙をはがして接着する。
取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



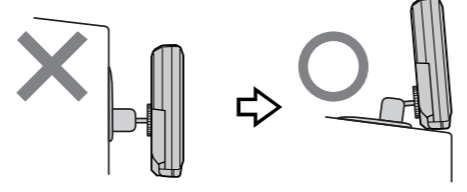
ご注意

一部のウィンドウガラス(フロント、リアとも)には、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、一度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。

モニターを取り付ける前に

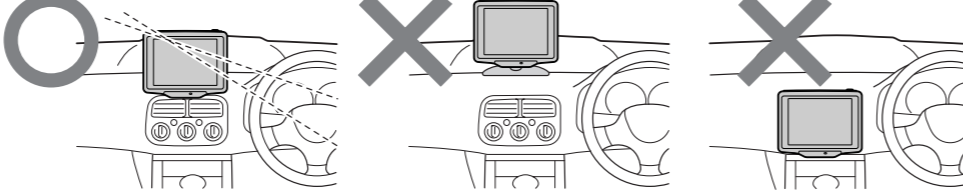
モニターは、安全性を重視して設計されており、正しい位置に確実に取り付けを行わないと、事故の原因となり大変危険です。取り付けの前に、必ず下記事項の確認を行ってください。助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けてください。

ご注意
不安定な取り付けは絶対にお避ください。走行中にははずれることがあり、大変危険です。



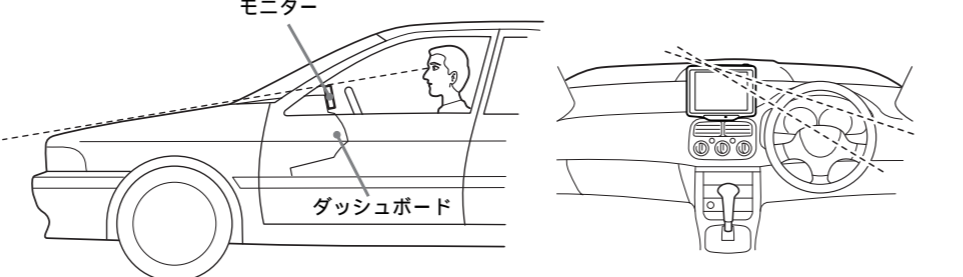
取り付け位置

前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずにすむように、ダッシュボードのなるべく高い位置に取り付けてください。



取り付け位置のポイント

- 運転者から見たときに、モニターがボンネットの先端よりも上に出ない。
- 極端に視線を下げる位置に設定しない。

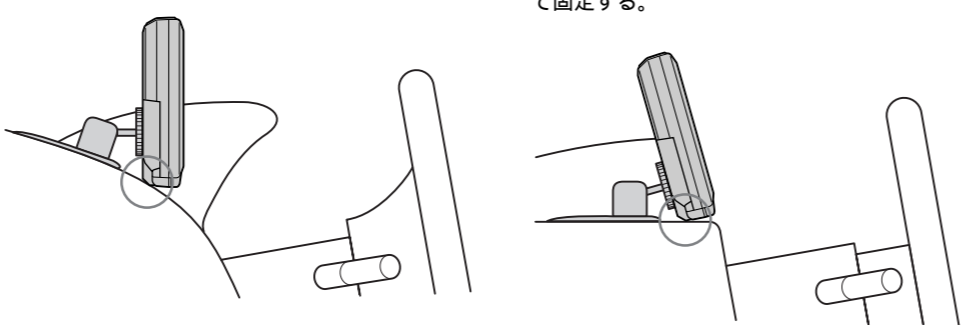


取り付け例

車の振動などによるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。

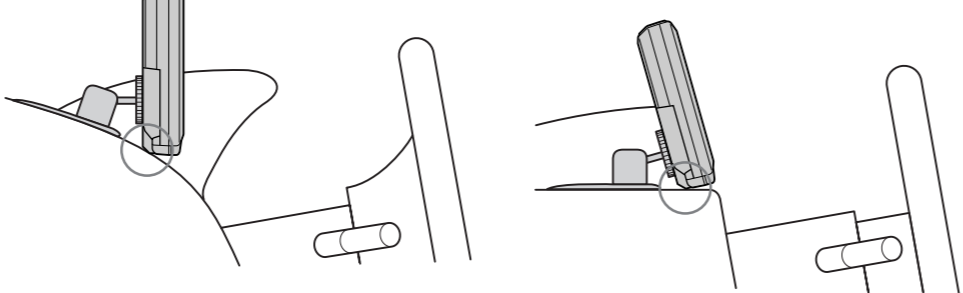
ダッシュボードが曲面の場合

モニター底面をダッシュボードにあてて固定する。



ダッシュボードが平面の場合

モニター底面をダッシュボードの平面にあてて固定する。



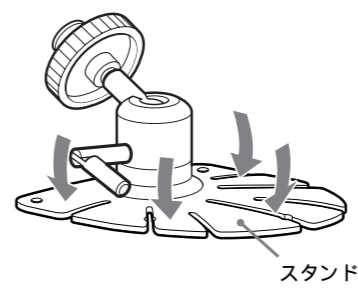
ご注意

モニターは極端に低温または高温になる場所には取り付けないでください。(キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。)また、直射日光下の車内はかなりの高温になりますので、日光が直接当たらないようにしてください。

モニターの取り付け

「モニターを取り付ける前に」の項目をご覧のうえ、設置しようとする場所で正しい取り付けができることを確認してから取り付けを行ってください。

- 1 ダッシュボードの形状に合わせて、スタンド⑮を曲げる。
曲げすぎて、スタンドが浮かないようにご注意ください。



- 2 クリーニングクロス⑯で取り付け面の汚れを取る。

- 3 両面テープのはくり紙をはがし、貼り付ける。

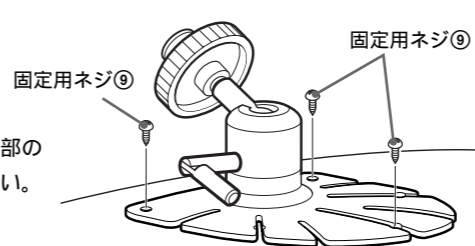
ご注意

- 取り付け面の表面温度が低い(20°C以下)と両面テープの接着力が弱くなるので、ヘッドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。また、24時間以上経ってからモニターの取り付けを行ってください。
- 取り付けたあとに両面テープをはがすと、接着力が弱くなり危険です。十分に位置を決めてから確実に取り付けてください。
- 取り外すときは、取り付け面を温めてからゆっくりはがしてください。

- 4 固定用ネジ⑰で固定する。

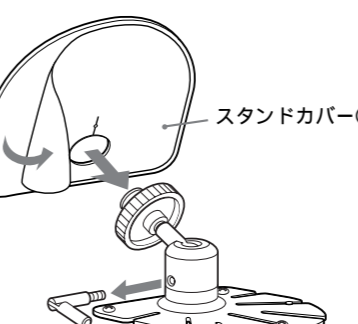
ご注意

取り付けた状態でネジの先端がダッシュボード内部の配線などに当たっていないことを確認してください。

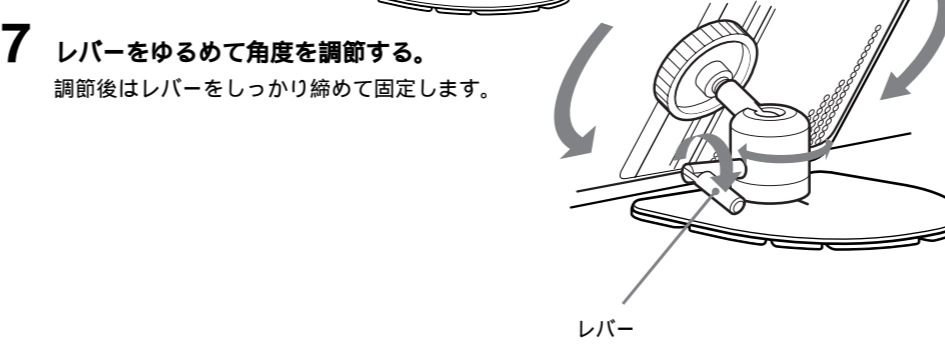


- 5 スタンドカバー⑱を接着する。

- 6 モニター背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める。
車の振動によるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードにあたるように高さを調整してください。調整後はネジを締めて固定します。



- 7 レバーをゆるめて角度を調節する。
調節後はレバーをしっかりと締めて固定します。



リモコンの取り付け

シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。

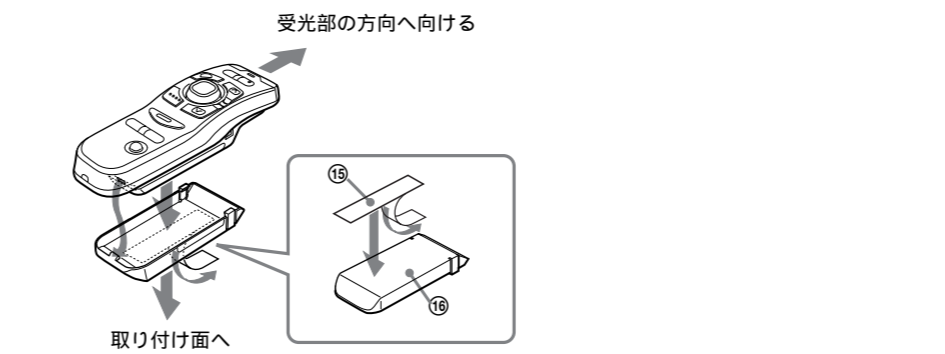
ご注意

- 次のような場所への取り付けは避けてください。
 - シフトレバーや、サイドブレーキなどの操作の妨げになるところ。
 - 運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになるところ。
 - ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのあるところ。

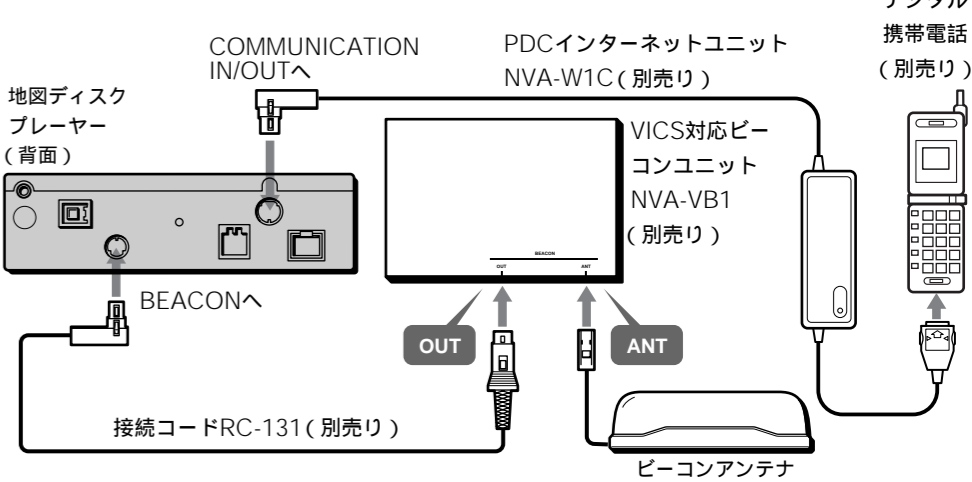
リモコンと受光部が向き合うように、両面テープで取り付ける。
クリーニングクロス⑯で、取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

ご注意

直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。



別売り機器と接続する



ご注意

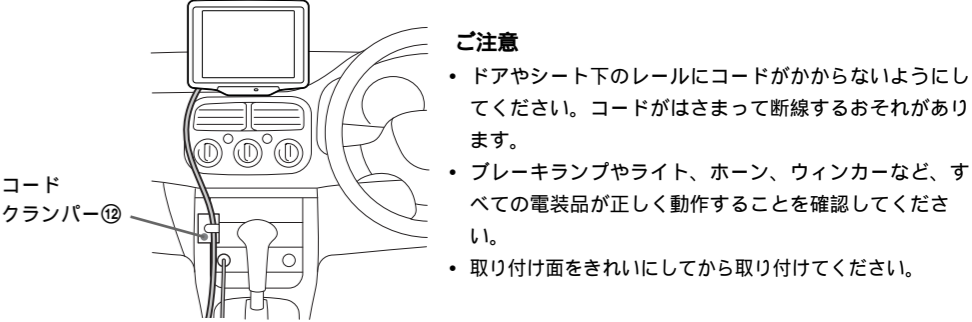
- CD/ROMチェンジャーCDX-R61やATISユニットXA-160A/165Aは接続できません。
- 一部のデジタル携帯電話は使用できないことがあります。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

取り付けと接続が終わったら

コードの処理について

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどからまると、非常に危険です。

- 1 助手席側にコードクランパー⑭で固定する。



- 2 車のキーをACCまたはONの位置にして、地図ディスクプレーヤーのリセットボタンをボールペンの先などで押す。

